

特集

川崎市国際交流協会設立20周年記念コンサート

～20年を経てはじまる、新たな交流のプロローグ～



表紙で川崎市の「国際姉妹・友好都市」を紹介していきます。

CONTENTS【目次】

- 海外生活レポート[ポーランドより・坂田慶子さん] P2
- 日本で活躍している外国人アーティスト[スミヤントさん] P3
- 特集 川崎市国際交流協会設立20周年記念コンサート P4～5
- 協会講座 講師紹介「ハンガル入門講座」「中国語による国際理解講座」 P6
- イベント・講座案内 P7
- 民間交流団体紹介「INTEX-V-NET」 P8

「KIAN」から「SIGNAL」へ

1990年3月から、川崎市国際交流協会の機関誌として長年親しまれてきました「KIAN」が、夏号より「SIGNAL」という新名称で内容ともども生まれ変わりました。今後ともよろしくお願ひします。

上の写真は…



国際姉妹・友好都市②【富川(プチョン)市(韓国)】

1996年10月21日 友好都市締結 人口 約88万人

韓国の富川は、1914年富川郡が新設され、はじめて富川という名称が使われました。その後、行政区域の変更が幾度かありましたが、1973年に富川市に昇格し、現在では面積 53.5km²、人口88万の韓国第11番目の大都市です。

富川市は、ソウルの西側かつ仁川の東側に位置し、かつては、桃の名産地として知られたのどかな田園都市でしたが、現在は産業都市に発展し、首都圏の中でも若い世帯人口が一番多い都市でもあります。

首都ソウルに隣接する富川市は、「文化芸術で発展して、経済で躍進する富川」というキャッチフレーズを掲げており、漫画、映画、音楽、伝統文化で発展を目指すとともに、付加価値の高い技術を持つハイテク産業が多く、今後更に発展する可能性を秘めています。